

所 属	農学生命科学部	氏 名	正 木 卓
課題名	青森県におけるソーシャルビジネスによる人材育成と農村振興		
<p>1. 概 要</p> <p>地方創生の議論が活発化する中で、社会的課題を解決する行政以外の担い手として、住民自らが地域課題を何らかのビジネスとして捉え事業化し、課題解決しようとする動き（ソーシャルビジネス）に注目が集まっている。農村地域においても、高齢化・労働力不足、介護・福祉を含む生活インフラ形成、まちづくり、産業振興等への課題対応として、そうしたソーシャルビジネスの萌芽が現れはじめており、青森県においても地域及び地域を越えての取組みとして動きがみられる。</p> <p>そこで本研究では、ソーシャルビジネスを展開する上での「サポート人材育成」について、農福連携事業およびネットワーク組織の実態調査から検討を試みるものである。具体的には第1に、県内の農福連携の実施主体の実態を明らかにする。県内取組み事例を対象とした事例分析を行い、そこから農福連携実施の動機・経過、事業内容等を明らかにする。第2に、農福連携の課題を提示する。ここでは、実際、農福連携に参加している個別農家と障がい者への聞き取り及び統計的分析資料を用い、農福連携の展開における農業と福祉からの課題を明らかにする。最後に、サポート人材育成の体制構築について検討を行う。</p> <p>以上のように、農業分野における障害者雇用を通じたソーシャルビジネスに取り組む事例研究から、農福連携を展開していく上で懸念される課題を農業分野及び福祉分野の視点で再整理し、農業と福祉の連携によって青森県における農業労働力確保（産業振興）がどのように展開していくのか、さらには農福連携の取組みを展開する上でのサポート人材育成の必要性について実証的研究から明らかにする。</p>			
2. 画像の説明			